

## 質問回答

平成26年1月20日

「平成25年度ジブチ国地熱開発にかかる情報収集・確認調査」

(公示日:平成26年1月8日/公示番号:9)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P5「第7 見積価格及び内訳書」 別紙 P7「第3 1.」 別紙 P9「特記事項」	契約期間は2013年度末で区切ることなく1本の契約でしょうか。その場合、「通常国会における予算成立のタイミングによって調査工程が前後する」というのは、調査開始が遅れる可能性があるという意味でしょうか。	本契約は年度末での区切りはなく、1本の契約です。予算の都合上、来年通常国会における予算成立のタイミングによっては、調査開始を含めた調査工程が前後する可能性があります。
2	別紙 P5「第2 7.(1)」 別紙 P7「第3 1.」	3) ドラフトファイナルレポート、4) ファイナルレポート、5) ファイナルレポート要約の提出時期が、別紙 P5と別紙 P7で異なっています。正しいのは別紙 P7の、8月下旬、9月下旬、9月下旬でしょうか。	別紙 P5の記載を訂正します。3) ドラフトファイナルレポートの提出が8月下旬、4) ファイナルレポート、5) ファイナルレポート要約の提出が9月下旬を想定しています。
3	別紙 P4, P6「第2 6.(2), (4), (6)」	現地調査時にJICAエチオピア事務所に立ち寄る必要はあるのでしょうか。	全ての現地調査で復路 JICA エチオピア事務所に立ち寄り、報告、打合せして頂きます。従い、復路はエチオピア経由で見積り願います。
4	別紙 P7, P8「第3 2.(1), (2)」	業務従事者に「通訳(仏)」が含まれておりますが、業務量の目途である「約8.2M/M」に、上記通訳の作業人月は含まれているのでしょうか。	業務量の目途である「約8.2M/M」に、「通訳(仏)」の作業人月は含まれていません。
5	別紙 P7, P8「第3 2.(1), (2)」	「通訳(仏)」の直接人件費を積算する際、「コンサルタント等契約における見積書作成ガイドライン」の通り、日額単価(間接費を含む)に稼働日に乗じて算定すればよろしいでしょうか。それとも、他	「通訳(仏)」の直接人件費を積算する際、「コンサルタント等契約における見積書作成ガイドライン」に基づき、日額単価に稼働日に乗じて算定願います。

		の団員と同様、直接人件費基準月額に基づき算定すればよろしいのでしょうか。	
6	P5「第7 見積価格及び内訳書」 別紙 P4, P5「第2 6. (4), (5)」	地質解析および地化学解析用試料のサンプリングおよび分析について、見積りの算定方法について教えてください。別途見積にすることもご検討ください。	1 地点あたりの試料数(岩石薄片顕微鏡観察:2 試料、X 線分析:5 試料、温泉水もしくは自然噴気試料:3 試料、同位体分析:1 試料)に 13 を掛け、別見積として算定願います。
7	別紙 P2「第2 3.」	調査対象地域が地熱有望地点 13 地点とありますが、既存文献等によると、指示書に示された地点名で更にいくつかの小さな地域に区分されている地点があります。それらの細分化された地点も調査対象として数えた場合、13 地点より調査地点数が増える可能性がありますか。	最終的な調査対象地域は第1 次現地調査でジブチ側と協議の上、決定します。プロポーザルでは、見積も含め、13 地点として検討下さい。
8	別紙 P4「第2 6. (1)」	ジブチ側から 13 対象地域の衛星画像の提供はありますか。	ジブチ側から衛星画像の提供はありません。受注者による入手をお願いします。
9	別紙 P4「第2 6. (4)」	サンプリング試料の輸出手続きで、JICA からの便宜供与は得られますか。	受注者と輸出入方法について事前に協議の上、必要なサポートを行います。
10	別紙 P4「第2 6. (4)」	変質岩試料のサンプリング(岩石薄片顕微鏡観察、X 線分析)とありますが、変質帯から採取するサンプルからは岩石薄片を作ることは難しいと考えられます。岩石薄片顕微鏡観察は現地では判定が難しい岩石について実施するのが一般的です。変質していない場所からのサンプルの採取と読み替えてよいでしょうか。	岩石薄片が採取可能な場所でサンプリング願います。

以上